平成２６年９月２４日
寝　屋　川　市
京阪電気鉄道株式会社

寝屋川市と京阪電鉄による連携企画
「びわこ号復活プロジェクト」がついにフィナーレ！

びわこ号復活記念乗車会を１１月９日（日）に開催します！

〇ワガヤネヤガワ号（構内入換車）の牽引により寝屋川車両基地内を走行します！
〇復活した『びわこ号』にご乗車いただくお客さま３００名を募集します！

寝屋川市（市長：馬場好弘）と京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）は、京阪電車寝屋川車両基地に保存されている往年の名車『びわこ号（６０型車両）』を復活させる取り組みである「びわこ号復活プロジェクト」を平成２３年７月から実施しておりましたが、このたび、「びわこ号復活記念乗車会」を平成２６年１１月９日（日）に実施します。これは、復活した『びわこ号』に寝屋川市民の皆さまなど３００名（事前応募制）のお客さまにご乗車いただき、ワガヤネヤガワ号（構内入換車）の牽引により、京阪電車寝屋川車両基地内を走行するものです。このイベントをもって同プロジェクトはフィナーレを迎えることとなります。

びわこ号復活プロジェクトは、寝屋川市がまちのイメージアップを図るため取り組んでいるブランド戦略基本方針「ワガヤネヤガワ・プロジェクト」の一環として実施しているもので、大阪・天満橋と滋賀県・浜大津を特急電車として直通で結んだ車両『びわこ号』を市民の力で走行可能な状態に復活させ、地域資源として“ねやがわブランド”の確立に活かそうというものです。

京阪電気鉄道株式会社は、「環境の保全」「地域との共生」「社会への貢献」などをキーワードに沿線価値の向上をめざしており、寝屋川市の「ワガヤネヤガワ・プロジェクト」の趣旨に賛同し、びわこ号復活プロジェクトに取り組んでまいりました。

びわこ号復活記念乗車会の詳細は別紙のとおりです。

びわこ号（６０型車両）

ワガヤネヤガワ号

（別紙）

１．開　催　日　　平成２６年１１月９日（日）
①午前１０時３０分から午前１１時５０分まで
②午後１時から午後２時１５分まで
③午後２時３０分から午後３時４５分まで
※各回入れ替え制

２．開 催 場 所　　京阪電車寝屋川車両基地
寝屋川市木田元宮二丁目１番１号（最寄り駅：寝屋川市駅）

３．内　　容　　・復活した『びわこ号』に寝屋川市民の皆さまなど３００名（事前応募制）のお客さまにご乗車いただき、ワガヤネヤガワ号（構内入換車）の牽引により、京阪電車寝屋川車両基地内を走行します。
・プロジェクト・アドバイザー斉藤雪乃さんもイベントに参加します。

４．参加者募集

①申 込 期 限　　１０月１３日（月・祝）まで（必着）

②申 込 方 法　　往復はがき（申込は１枚につき３人まで）に代表者の郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、参加希望時間帯（第１希望から第３希望まで記載できます）、参加者全員の氏名（ふりがな）、（返信用はがきにも住所、氏名）を書いてください。

≪宛先≫
〒５７２－８５５５
寝屋川市本町１番１号　寝屋川市ブランド戦略室

※寝屋川市ホームページ「募集情報」からも申し込みができます
※電話でのお申し込みはできません
※小学生以下のお子さまは保護者同伴でお越しください。また、小さなお子さまも一人としてお申し込みください

③当 選 発 表　　１０月１６日（木）頃、結果を代表者の方にメールまたは返信用はがきで送付いたします。

④お問い合わせ　　寝屋川市　経営企画部ブランド戦略室
☎０７２（８２４）１１８１

（ご参考）

◎『びわこ号（６０型車両）』の概要

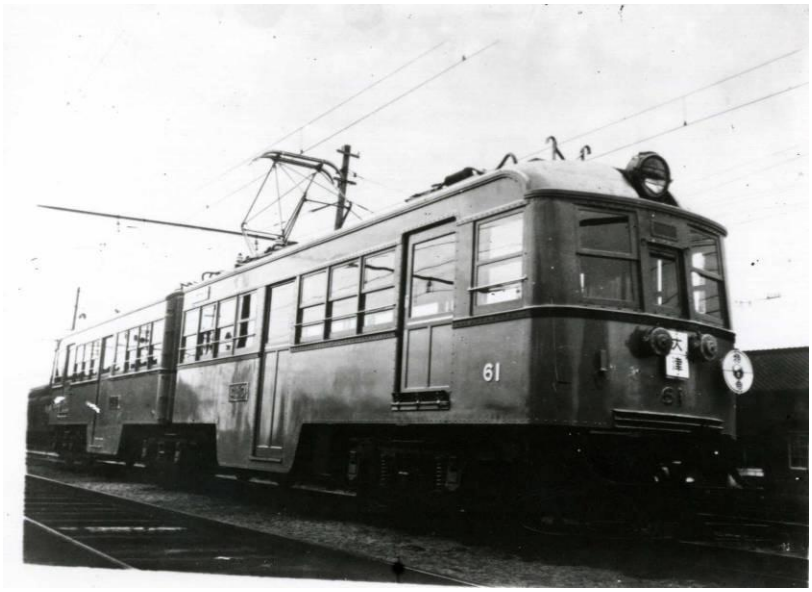
昭和９年、天満橋－浜大津間を７２分で快走する直通特急として新造され、琵琶湖島めぐりやスキー船との連絡に活躍して、ご乗客の皆さまから『びわこ号』の愛称で親しまれました。

日本最初の連節車としても知られており、２つの車体が接するところに１台の台車をおいて両方の車体を支える構造になっています。京津線には半径の小さなカーブがあり、車両の幅や長さにかなりの制限を受け、京阪本線からの高速大型車両の直通乗り入れ運転は難しいのですが、この連節車を導入することによって東山や逢坂の山越えなど急勾配や急カーブでも円滑に運転することができました。また、屋根の上には２つの集電装置があり、京阪線ではパンタグラフを、京津線では当時ポールを使用していました。

なお、平成２１年には経済産業省から「近代化産業遺産」の認定を受けました。

【びわこ号（６０型車両）経歴】

・昭和　９年　３月	竣工
・昭和　９年　４月　２日	天満橋浜大津間、直通運転開始（運転時間７２分）
・昭和２１年　９月	６３号大津線へ移管
・昭和２３年　１月２７日	６１号大津線へ移管
・昭和２３年１０月　１日	６２号大津線へ移管
・昭和２６年１２月	天満橋－浜大津間で直通スキー列車運転（運転時間８６分）
・昭和３１年　１月１５日	浜大津－八幡町間で直通臨時列車「やわた」号運転
・昭和３５年頃まで	初詣直通運転（石山寺または浜大津－香里園間） 初午直通運転（石山寺または浜大津－伏見稲荷間）
・昭和３６年１１月２３日	浜大津－枚方公園間で直通運転「菊」号運転
・昭和４２年１２月	６２号廃車
・昭和４３年１２月	６１号廃車
・昭和４５年１０月	６３号廃車
・昭和５５年　３月１４日	開業７０周年記念事業の一環として修復保存展示（ひらかたパーク）
・平成　８年　６月２０日	２回目の修復工事完了
・平成１２年　１月２８日	京阪電車寝屋川車両基地に搬入保存
・平成２１年　２月　６日	近代化産業遺産認定（経済産業省）



昭和９年当時のびわこ号

◎びわこ号復活プロジェクトの主な取り組み

１．概要

まちのイメージアップを図る「元気都市　寝屋川」のシンボルとして、市民との協働により、京阪電車寝屋川車両基地に保存されている『びわこ号』を復活させるプロジェクトで、自治体による鉄道車両の復活に向けた取り組みは日本初です。「ワガヤネヤガワ・プロジェクト」の重点取り組みの一つであり、平成２６年度での車両基地内の復活走行を目標に、イベントや各種メディアなどを通じて情報発信を続けてきました。

２．プロジェクト実施期間

平成２３年７月から平成２６年１２月まで

３．推進体制

①実施主体

寝屋川市

②総合プロデューサー

橋爪紳也 大阪府立大学教授

③プロジェクト・アドバイザー

中川家・礼二氏（よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属）

斉藤雪乃氏（舞夢プロ所属）

向谷実氏（音楽館代表取締役）

④プロジェクト・パートナー

京阪電気鉄道株式会社

４．取り組み内容

年　　月	内　　容
平成２２年２月	寝屋川市ブランド戦略基本方針「ワガヤネヤガワ・プロジェクト」策定。同基本方針において、「びわこ号復活プロジェクト」を重点取り組みとして位置付ける。
平成２３年７月	「寝屋川市びわこ号復活基金」を設置（６月市議会定例会にて条例改正）。寄附金受付開始。
平成２３年９月	寄附金（ふるさと納税）のクレジット決済サービス開始。
平成２４年１月	プロジェクトをＰＲするため、参加型イベント「びわこ号サポーター倶楽部vol.1」を開催。
平成２４年６月	「びわこ号復活プロジェクト」応援グッズ発売開始。
平成２４年７月	寝屋川市駅北口改札前にプロジェクトをＰＲする大型ポスターを掲示。
平成２４年９月	京阪電車寝屋川車両基地内で、『びわこ号』のスケッチ大会を開催。
平成２４年１０月	７両１編成の営業列車内の全てのポスター、ステッカーをプロジェクトＰＲの内容に統一したギャラリートレインを運行。期間は、平成２４年１０月１７日から平成２５年３月３１日まで。

	摂南大学、大阪電気通信大学、聖母女学院、同志社香里中学校・高等学校、関西医科大学、大阪国際大学が作成したヘッドマークを掲出。
平成２５年１月	京阪電車なにわ橋駅 アートエリアＢ１で「びわこ号ミュージアム」開催。期間は、平成２５年１月２３日から２月２３日まで。
平成２５年７月	ＮＨＫラジオ「ここはふるさと旅するラジオ」で、プロジェクトを全国へＰＲ。
平成２５年１１月	クイーンズスクエア横浜で、ラジオ日本「斉藤雪乃のイチバンセン！」公開収録を実施し、プロジェクトをＰＲ。
平成２６年３月	日本最大級の屋外鉄道イベント「万博鉄道まつり２０１４」のステージで、中川家・礼二氏と斉藤雪乃氏の共演イベントを実施し、プロジェクトをＰＲ。
	『びわこ号』復活内容の公表。
平成２６年７月	『びわこ号』復活に向けた寄附金額が目標額の２，５００万円に到達。

以　上